

二一〇二番

この夕ゆふへ 秋風吹きぬ 白露しらつゆに 争あらそふ萩はぎの
明日咲かむ見みむ

二一〇三番

秋風あきかぜは 涼すずしくなりぬ 馬うまな並めて いざ野のに行ゆか
な 萩はぎの花見はなみに

二一〇四番

朝顔あさがほは 朝露あさつゆお負ひて 咲さくといへど 夕影ゆふかげにこそ
咲さき増まさりけれ

二一〇五番

春はるされば 霞かすみ隠かくりて 見みえざりし 秋萩あきはぎ咲きぬ
折をりてかざさむ